

# 2026年6月期 第1四半期決算説明資料

株式会社クオルテック 【証券コード：9165】

## Highlights

### 01

当第1四半期累計期間の売上高は、全体で前年同期比9.0%成長の980百万円。  
第1四半期としては、上場来最高額を更新。

当社の主要取引先である車載業界の技術開発は電動化推進の動きに加え、消費電力削減の観点からパワー半導体の開発需要は依然として好調に推移。そのような状況下で、顧客企業の製品開発フェーズを着実に捉えて対応した結果、主力事業である信頼性評価事業は、前年同期比7.1%成長。また微細加工事業においても、レーザー加工の量産案件へのシフトが進むと共に、表面処理技術も主要顧客の開発需要増加に応じた受注キャパシティ増強が奏功し、前年同期比35.0%成長と、大きく貢献。

### 02

営業利益は、前期に引き続き成長戦略に向けた拡販体制強化、次世代半導体を中心とした研究開発を積極的に進め人件費及び研究開発費の増加はあったものの、売上増加がそれを上回り、営業利益は前年同期比131.0%と大きく成長し、第1四半期としては上場来最高益を更新。

### 03

通期業績予想に関しては、当初業績予想を据え置き。しかし、上記の通り車載メーカーをはじめとする需要は順調に推移も、今後の米国関税政策発動による製品開発への影響も拭いきれず、長期化による開発費の削減リスクも潜在しております。

## 目次

- 1 | 決算概要
- 2 | セグメント別売上高
- 3 | 営業利益増減内容
- 4 | 四半期売上高推移
- 5 | その他経営数値
- 6 | 通期業績予想
- 7 | 1株当たり配当額と配当性向の推移
- 8 | 附録(注意事項)

## 1. 決算概要

前年同期より増収増益。売上高は+80百万円で、人件費や研究開発費の増加を上回ったことから営業利益は+46百万円増益。経常利益は営業外損益影響を含め+47百万円。四半期純利益は減損損失▲1.5百万円及び法人税等影響が▲25百万円となるも、+35百万円。

【単位:百万円】( )内は売上高比

	25年6月期 1Q実績		26年6月期 1Q実績		前期差
売上高		899		980	+80
営業利益	(4.0%)	35	(8.4%)	82	+46
経常利益	(3.9%)	35	(8.4%)	82	+47
四半期 純利益	(2.3%)	20	(5.7%)	56	+35

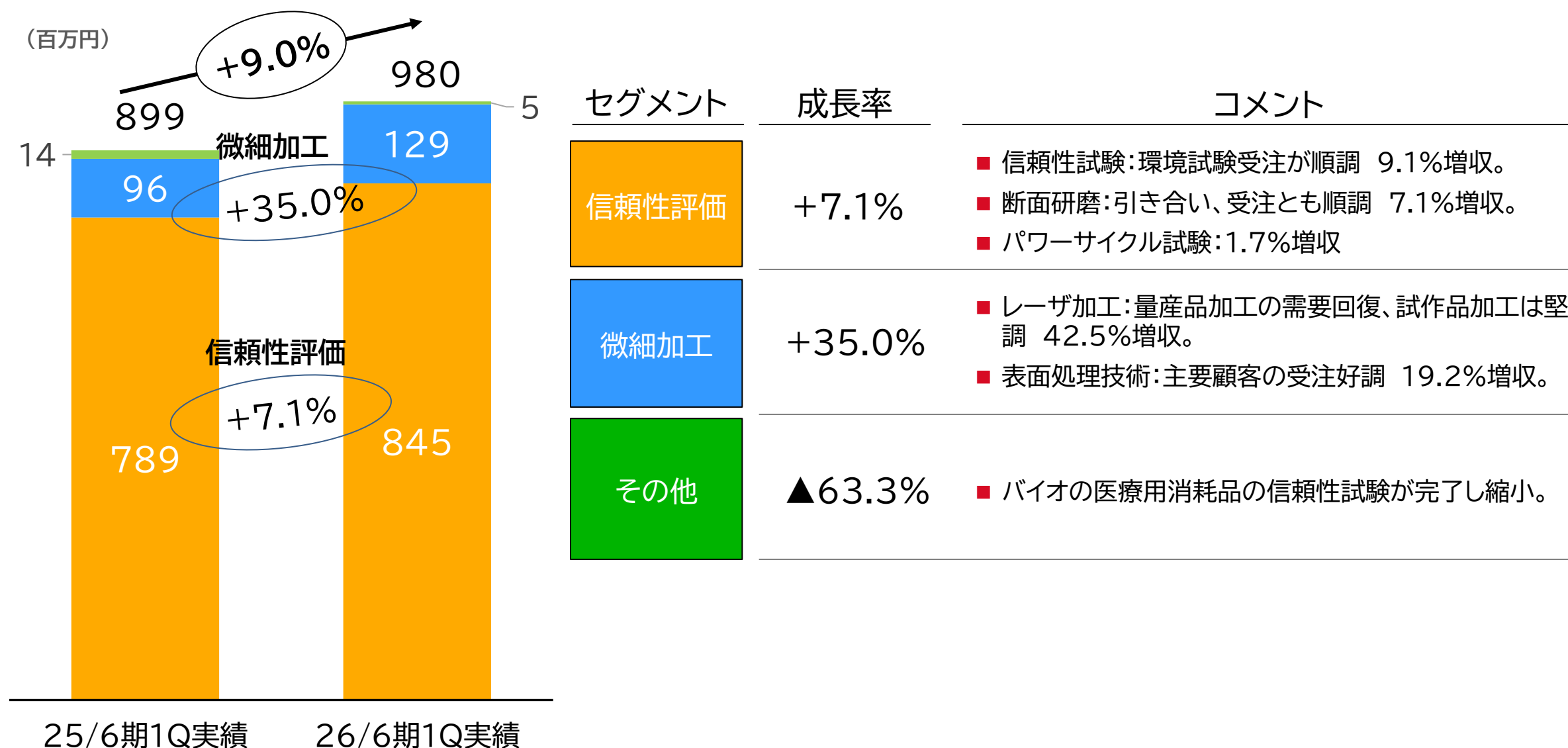
## 2.セグメント別売上高(対前年同期)

全社売上高は対前年同期比+9.0%成長。

主力の信頼性評価事業は、環境試験では前期4Qの設備投資効果により、振動試験ほか各種試験での受注が順調。断面研磨でも期初の設備投資が高倍率観察の案件受注につながるなど、全体で対前年同期比+7.1%成長。

微細加工事業は、レーザ加工で量産加工受注の獲得と、引き続き高付加価値の試作加工を受注出来ている状況。また表面処理技術では主要顧客からの研究開発受注が引き続き好調。事業全体で対前年同期比+35.0%成長。

その他事業は、バイオで厚生労働省案件の医療用消耗品の信頼性試験が完了し、▲63.3%減収。





## 3. 営業利益増減内容(対前年同期)

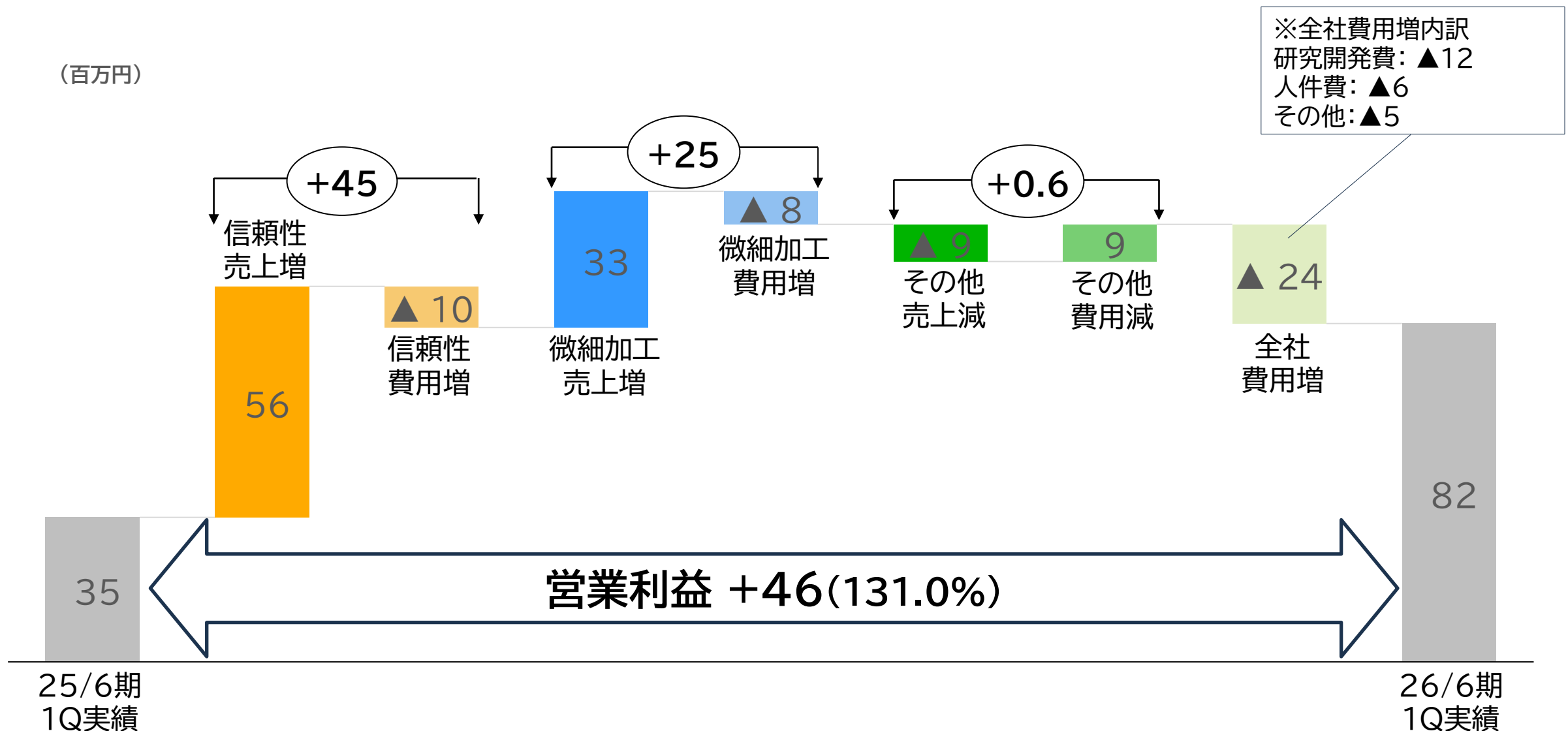
全社営業利益は対前年同期比+46百万円と大幅増益。

主力事業である信頼性評価事業は売上増加分が、費用増を上回り、+45百万円の増益。

微細加工事業は売上増加の割合が+35%と大きく、同じく費用増を上回り+25百万円の増益。

その他事業はバイオで受託試験売上減も、前期中から対応した人件費、賃借料の費用減で+0.6百万円の増益。

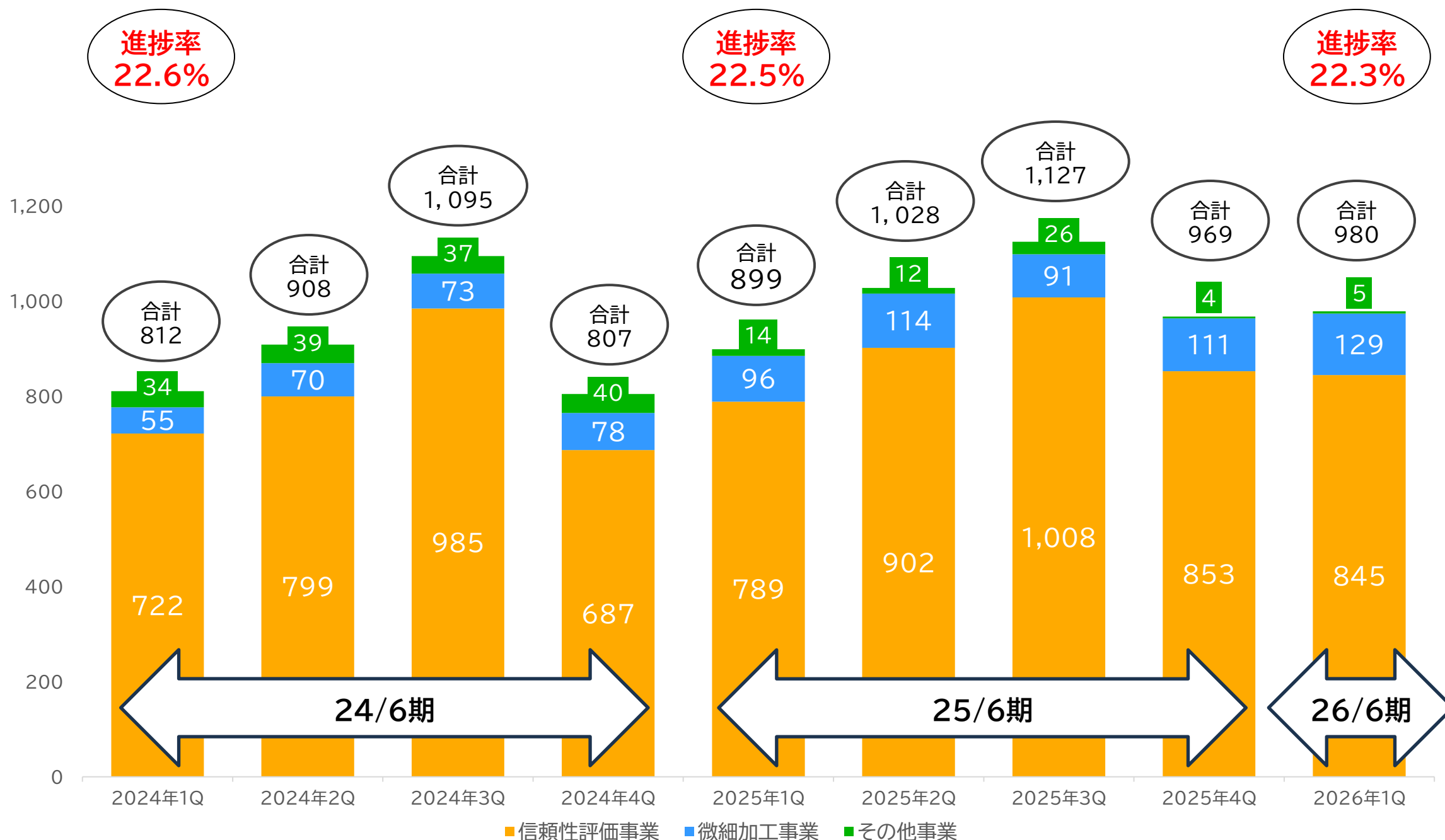
全社共通部門は営業を中心とした拡販体制強化、次世代半導体を中心とした研究開発の積極推進に伴う先行投資等により▲24百万円の費用増。



## 4. 四半期売上高推移(セグメント別)

第1四半期単独では売上高は10億円にせまり、上場来最高売上高を更新。

【単位:百万円】



※25/6期から表面処理技術はその他事業から微細加工事業にセグメント変更しておりますが、24/6期は変更後の区分にて記載しております。

## 5.その他経営数値(対前年同期)



その他経営数値の状況は下記の通り。

【単位:百万円】( )内は売上高比

	25年6月期 1Q実績		26年6月期 1Q実績		前期差
総資産		3,897		4,257	+359
純資産		3,078		3,246	+168
自己資本比率		79.0%		76.2%	▲2.7%
現預金残高		1,658		1,530	▲128
設備投資		153		62	▲90
研究開発費	(4.7%)	42	(5.6%)	54	+12
在籍人員(人)		254		260	+6



## 6.通期業績予想

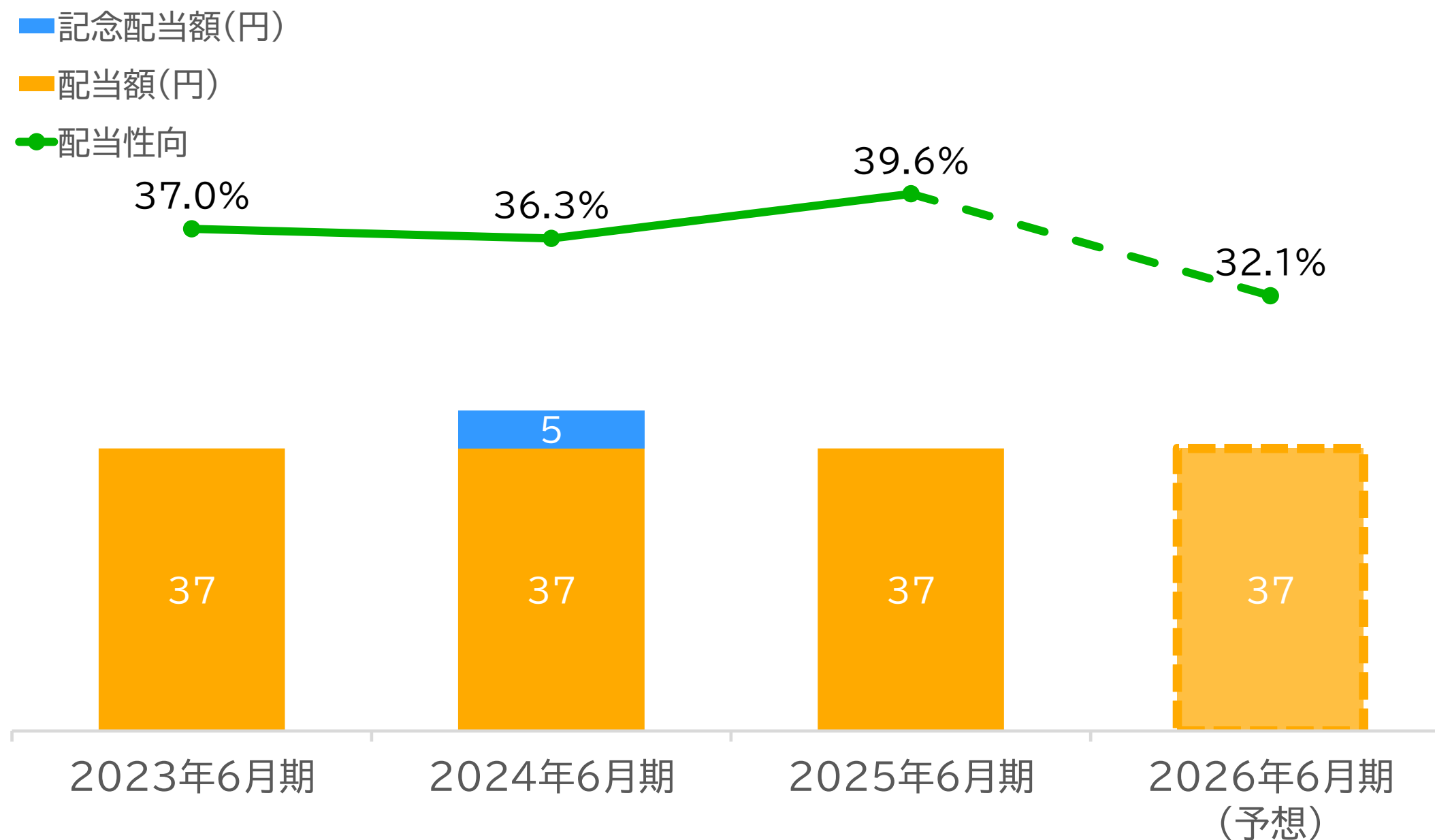
通期業績予想に関しては、当初業績予想を据え置き。主要顧客である車載業界を中心に需要は堅調であり、増収増益を予想。顧客からの受注状況は順調なるも、米国関税政策発動による主要顧客の製品開発への影響は限定的な中、先行き不透明感は拭えない状況であります。

【単位:百万円】( )内は売上高比

	25年6月期 通期実績		26年6月期 通期業績予想 今回(11/14)		前期差
売上高		4,025		4,400	+374
営業利益	(9.6%)	384	(9.2%)	405	+20
経常利益	(9.6%)	384	(9.2%)	404	+19
当期純利益	(5.5%)	219	(6.2%)	271	+51

## 7.1 株当たり配当額と配当性向の推移

株主還元方針として、設備投資や業容拡大の準備等に備え、内部留保を図りつつ、安定的な配当に努めることとしており、配当金額は前年と同額を計画(2024年6月期のみ上場記念配当5円あり)。業績予想と同様に、配当も当初予想から変更なし。



## 8. 附録(注意事項)

本資料には、将来の見通しに関する記述が含まれています。

これら将来の見通しに関する記述は、当該記述を作成した時点における情報に基づいて作成されています。これらの記述は、将来の結果や業績を保証するものではありません。このような将来予測に関する記述には、必ずしも既知及び未知のリスクや不確実性が含まれており、その結果、将来の実際の業績や財務状況は、将来予想に関する記述によって明示的または黙示的に示された将来の業績や結果の予測とは大きく異なる可能性があります。

上記の実際の結果に影響を与える要因としては、国内及び国際的な経済状況の変化や、当社が事業を展開する業界の動向などが含まれますが、これらに限られるものではありません。

また、当社以外の事項・組織に関する情報は、一般に公開されている情報に基づいており、当社はそのような一般に公開されている情報の正確性や適切性を検証しておらず、保証していません。

assists your "thinking"

Qualtec

